

「本リリース御案内は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

報道各位へのお知らせ

平成24年8月20日

nite National
Institute of
Technology and
Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター

介護現場における介護ベッド等による事故の防止について（注意喚起）

高齢化が進み、介護ベッド及び関連用具（以下「介護ベッド等」という。※1）は、病院や介護施設等で利用されていますが、在宅介護が広がり、家庭での事故も多く発生しています。

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井 至、本所：東京都渋谷区）製品安全センターに通知された製品事故情報（消費生活用製品安全法に基づき報告された重大事故のみならず、被害なしやヒヤリハットの事故を含む）のうち、調査の結果から使用時に気を付けるなどで防ぐことができる事故について、広く一般に注意喚起をするため報道関係の皆様説明会を行っています。

介護ベッド等による事故は、平成19年度から23年度の5年間に179件（※2）ありました。事故を製品部位別にみると、「介護ベッド」の事故は36件、「ベッド用グリップ」の事故は53件、「サイドレール」の事故は47件ありました。被害状況は、死亡事故36件、重傷事故42件、軽傷事故41件、拡大被害（※3）1件等がありました。さらに、死亡事故、重傷事故合計78件を発生場所別にみると、家庭で46件、病院19件、介護施設11件、場所不明2件となり、家庭での事故件数が最も多くなっています。

介護ベッド等の事故は、身体機能や認知レベルの低下した者ほど被害が大きく、事故件数も多くなっています。また、設置方法に問題がある等、介護ベッドの使い始めに発生する事故が多くなっています。そこで、特に介護に携わる方に注意していただくことで事故を防止するため、記者説明会を開催しますので、ご案内いたします。

（※1）介護ベッド（病院用ベッドは除く）、ベッド用グリップ、サイドレールをいう。

ベッド用グリップ：ベッドでの起き上がりや立ち上がり等の動作を補助する用具。

サイドレール：ベッドからの転落防止のための側面の柵。

（※2）平成24年6月29日現在、重複、対象外情報を除いた件数で、事故発生日に基づき集計。

平成23年度に発生した被害なしの同一事業者の同一事例（リコール）43件が含まれていたことから、これらを除いた136件で分析を行うこととした。

（※3）NITEでは、製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

1. 記者説明会について

日時：平成24年8月23日（木曜） 10：00～（開場9：00）

場所：ナイトスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加御希望の方は、平成24年8月22日（水曜）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へ必ず御連絡ください。

会場の準備のため必要ですので、御協力くださいますようお願いいたします。

2. 説明する内容

NITEに通知された「介護ベッド等」の事故の状況とその傾向、事故事例及び未然防止のポイント等を説明いたします。また、再現実験映像をご覧いただけます。

3. 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区）では、入館管理システムを運用しております。

入館時： 受付で外来者用入館許可証をお渡しますので、ゲートにかざして入館してください。

（館内では許可証を首から下げてください。）

退出時： 許可証を受付に返却してください。

御手数をお掛けしますが、御協力くださいますようお願いいたします。

（本件に関するお問い合わせ先）

○記者説明会前々日まで

製品安全センター製品安全調査課長 葛谷（くずや）

担当者 亀井、山城

電話 06-6942-1113

○記者説明会前日及び当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、山城

電話 03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 葛谷、亀井、山城

電話 06-6942-1113